



CARBON NEUTRAL

川崎CN ブランド 2023



製品紹介パンフレット

カーボンニュートラル(CN)の実現に貢献する
製品・技術、サービスの CO₂ 削減を
ライフサイクル全体で評価

川崎CNブランド等推進協議会

川崎CNブランド2023の講評



川崎CNブランド等推進協議会

会長 **足立 芳寛**

(東京工科大学 客員教授)

カーボンニュートラルの取組は企業が事業活動を進めていく上で最重要課題となっており、環境意識の高い企業を中心に、関連他者の排出である Scope 3 を含めたサプライチェーン全体での CO₂ 排出量を把握していく動きが広まっております。

「川崎 CN ブランド」は、ライフサイクル全体で CO₂ 削減に貢献する川崎発の製品・技術等を広く評価し、発信する制度として実施してきた「低 CO₂ 川崎ブランド」の考え方を継承するとともに、認定製品・技術、サービスを通じた市民・事業者へ脱炭素化の取り組みを波及させていくことで、カーボンニュートラルの実現を目指すためリニューアルを行ったものです。

第1回目となる今年度は8件の製品・技術を認定し、脱炭素社会の実現へ特に貢献すると考えられる3件を大賞として選定しました。

JFE スチール株式会社東日本製鉄所(京浜地区)様の「JNRF®」は、電磁鋼板と呼ばれる、鋼板に独自の特殊技術を用いて製造した磁性材料で、EV 等のモータに活用することで、従来の高出力を維持しつつ、高効率化を実現しています。電磁鋼板は、今後 EV の普及が進むことで需要がさらに拡大することが見込まれており、CO₂ 削減に大きく貢献することが期待できます。

東芝エネルギーシステムズ株式会社様の「AEROXIA™」は、GIS と呼ばれる開閉装置です。開閉装置は落雷対策等の安全装置として、変電所に不可欠なものです。絶縁ガスに地球温暖化係数の高い物質(SF₆)を使用しており、メンテナンス時や処分時に一部ガスが漏えいする点で取り扱いに注意が必要でした。その点で「AEROXIA™」は SF₆ を使用せず、窒素と酸素からなる混合ガスを使用していることから画期的な製品であると言えます。

株式会社富士通ゼネラル様の「nocria」は環境負荷の低い冷媒を使用したルームエアコンで、再エネ 100%の電力を使用して製造されています。また、同社は暖房に化石燃料を多く使用している欧州において、ルームエアコンにも使用されているヒートポンプ技術を活用した暖房機への転換を促進しており、海外でも貢献されています。さらに、エアコンは私たちにとって身近な製品であり、市民の皆様への波及効果も期待できます。

他の認定製品・技術等もそれぞれに特徴があり、各々の分野で CO₂ 削減に貢献しているものであると言えます。また、市内7区中6区から申請があり、臨海部の大企業に限らず、多くの事業者における環境配慮意識や製品等の排出量の算定のニーズの高まりを感じております。

当協議会では、今後も認定製品を広く発信し普及させていくとともに、製品・技術、サービスを通じた地球温暖化対策の推進に貢献する取組を、様々な主体に波及させていくことで、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

川崎CNブランドとは

目的

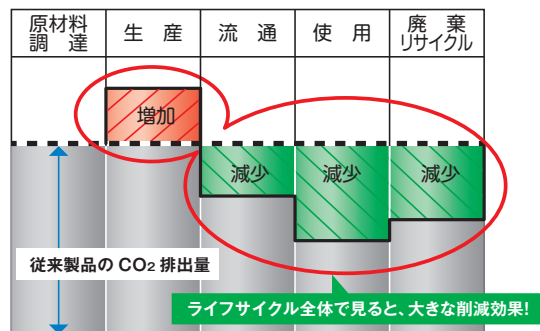
- ライフサイクル全体（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化対策を図ります。
- ライフサイクル全体でのCO₂削減効果の考え方を普及させることにより、川崎市全体の環境意識・スキルの向上を図ります。
- 地球規模で温室効果ガスの排出削減に貢献している事業者が、市場で適切に評価される仕組みづくりを推進します。
- 認定製品を通じたカーボンニュートラルの取組を市民・事業者等へ波及させることで、市全体の脱炭素化を促進するとともに、市域外での脱炭素化に貢献します。

特徴

- ライフサイクル全体を通じた温暖化対策への貢献を評価



川崎CNブランドの考え方



従来製品と比較してCO₂増加
従来製品と比較してCO₂減少

ライフサイクル全体を通じて、温室効果ガスの排出量が削減された製品等を認定します。

部門

製品・技術部門

川崎市内で製造または研究開発（確立）され、ライフサイクル全体でCO₂排出削減に貢献している製品・技術

サービス部門

川崎市内で提供または企画（確立）され、ライフサイクル全体でCO₂排出削減に貢献しているサービス

- 最終製品、素材、部品、研究活動、プロセス、各種サービス等を認定します。
- 川崎市内で研究開発（企画）又は製造（提供）されたものが対象です。
- 応募する企業・団体の規模（大企業/中小企業）や業種（製造業/非製造業）は問いません。

認定基準

- ① ライフサイクルでの環境効率の向上
- ② 市民・事業者を初めとした社会への波及効果
- ③ 製品の製造時・サービスの提供時等における脱炭素化の取組

※ ①及び②の基準を満たすことを必須とし、③の基準については、現在の取組状況について、大賞選定の参考等に使用します。

〈大賞について〉

認定基準のほか、独自性・先進性、地域社会・国際社会への貢献、カーボンリサイクル・資源循環の取組等の「川崎の特徴・強みを活かした脱炭素社会の実現への貢献度」を総合的に評価して大賞を選定します。

ロゴマーク

カーボンニュートラルに向かっていくという強い想いを、矢印で表現しています。矢印の形は資源循環や炭素原子をモチーフにしているとともに、「低CO₂川崎ブランド」を継承していることから、イメージカラーである水色を引き続き採用しています。



川崎CNブランド ロゴマーク

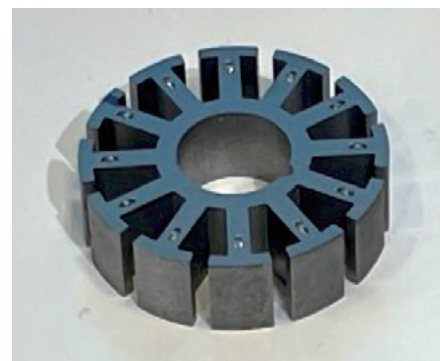


JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）

高速モータ用Si傾斜磁性材料『JNRF®』

製品・技術の概要

- 高周波低鉄損と高磁束密度を両立した無方向性電磁鋼板。
- CVD(化学気相蒸着)連続浸珪プロセスを加えることで、従来の磁束密度(トルク)を維持しつつ、高効率(省エネ)を実現。
- ➡ JFEスチールオリジナルの連続浸珪プロセスを用いた板厚方向にSi濃度傾斜を付与した電磁鋼板を製造し、高出力と高効率を両立させた製品の製造を実現した。



モータコア一例

ライフサイクルCO₂削減効果

- モータ用Si傾斜電磁鋼板をEVなどのモータに使用した場合、従来の無方向性電磁鋼板(3% Si鋼板)と比較して約0.7%のCO₂を削減



製品を通じた社会への波及効果

- カーボンニュートラルの必要性を日常生活を通じて、より具体的に身近で効果を感じられる形で提供していく。

企業からのコメント



商品技術部薄板室
藤井 顕一

持続可能な社会の実現に向けて、自社技術を通じた JFE グループの CO₂ 排出量の削減、社会全体の CO₂ 削減への貢献拡大により企業価値の向上を図ってまいります。

製品に関するトピックス

無方向性電磁鋼板とは？

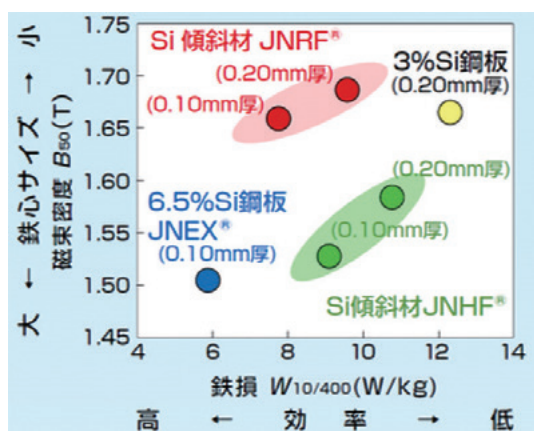
私たちの身の回りには、洗濯機・エアコンなど多くの電気機器があります。電気機器において、「電気」を「磁気」、そして「ちから」に変換する重要な役割を担っているのが電磁鋼板です。

電磁鋼板のうち、全方向均一に優れた磁気特性を持つものを無方向性電磁鋼板と呼び、モータなどの回転機に適した電磁鋼板です。無方向性電磁鋼板は家電製品や電気自動車（EV）をはじめ、最近ではドローンなどにも使用されています。



適用製品例

Si 傾斜磁性材料『JNRF®』とは？



モータはその物性から電圧の大小に関わらず回転エネルギーに変換できない損失が発生してしまいます（鉄損）。

鉄損を軽減するには、鋼板にケイ素を添加することが有効と考えられており、JFE スチールでは、世界で初めて CVD 処理による珪素添加を行った無方向性電磁鋼板を開発しています。

「JNRF®」は板厚方向に Si 濃度傾斜を付ける事で高周波鉄損の低減と磁束密度の向上を両立させました。

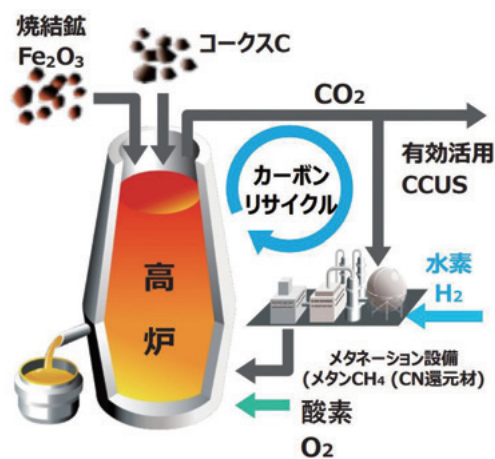
これによりモータの高トルク化と高効率（省エネ）を両立することが可能となりました。

JFEスチールのカーボンニュートラルに向けた取組

鉄鋼業は国内全体のCO₂排出の約14%を占めており、産業部門だけで見ると約40%に上ります。鉄鋼業界がカーボンニュートラルを実現することで、国内全体にも大きなインパクトがあります。

JFEスチールでは、2022年に2050年のカーボンニュートラルの達成を表明しており、低炭素鉄鋼プロセスへの転換を推進するとともに、革新的な技術開発を目指しています。

京浜地区においてもJNRF®を始めライフサイクル全体でCO₂を削減した製品の製造を引き続き行くとともに、高炉の跡地利用として、水素・アンモニアの供給拠点や最先端技術の実験場等を整備していくことを計画しています。



カーボンリサイクル高炉法
（カーボンニュートラルに向けた新たな取組の一例）

お問い合わせ先

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）
〒210-0868 川崎市川崎区扇島1番地1
Tel 044-322-1601 FAX 044-322-1539

業務内容

鉄鋼製品・半製品の製造等
<https://www.jfe-steel.co.jp/>





東芝エネルギーシステムズ株式会社

72kV ガス絶縁開閉装置 (GIS) AEROXIA™

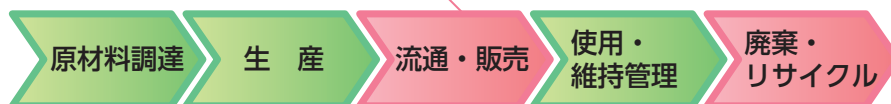
製品・技術の概要

- 国内初の自然由来ガス※¹を絶縁媒体に用いた電力用ガス絶縁開閉装置※²。
(※¹)乾燥空気(ドライエア)：窒素と酸素の二種混合ガスを使用
(※²)変電所などに設置される電気回路の切替装置
- CO₂に比べて約24,300倍の地球温暖化係数を有するSF₆を不使用。
- 使用・維持管理におけるSF₆ガスの排出量が0になるため、現行機種より温室効果ガス排出量を削減。



ライフサイクルCO₂削減効果

- SF₆を用いた従来製品と比較して、CO₂換算で約67%※³の温室効果ガス排出量を削減。
(※³) IPCC第5次評価報告書等のデータを使用した算定結果

製品の重量化・大型化によりCO₂増

地球温暖化係数の高いガスの漏洩リスクを回避

製品を通じた社会への波及効果

- 2016年設立のSF₆代替ガス検討会※⁴で提言の「7つの要件」に合致した日本初の電力向け製品を開発し、環境調和性の高い製品展開を積極的に行い、カーボンニュートラルの実現に貢献。
(※⁴) 国内の11電力、7メーカー、6大学、電力中央研究所、送配電網協議会(オブザーバー)、日本電機工業会(オブザーバー)のオールジャパンで構成する検討会

SF₆代替ガス7つの要件

①安全性 ②常規使用状態への対応 ③ガスの供給性 ④簡易なガスハンドリング ⑤従来と同等レベルのライフサイクルコスト ⑥既設設備とのリプレース性 ⑦上位定格へのスケーラビリティ

企業からのコメント



東芝エネルギーシステムズ株式会社
浜川崎工場開閉装置部
開発設計グループ
大西智哉

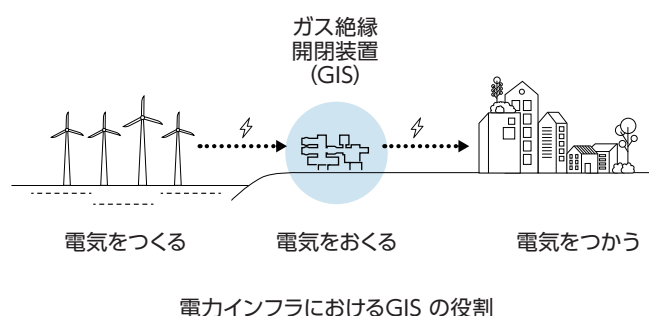
弊社の新形 GIS のブランド名“AEROXIA (エアロクシア)”は、“AERO”(自然由来ガス) + “AXIA”(ギリシャ語で価値)の造語で、持続可能な価値を生み出したいという思いを込めています。今後、小形化や高電圧への対応など、次の50年の電力インフラを支える新しい技術をつくるという気概で、技術・製品を進化させ、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

製品に関するトピックス

ガス絶縁開閉装置 (GIS) とは？

GIS とは、Gas Insulated Switchgear の略称で、電力の流れをオン・オフ (開閉) する電気回路の切替装置です。

電力会社等の変電施設に設置され、落雷や事故で電力系統に異常が発生した際に、即座に電力の流れを止め、安全に系統から切り離すことができる電力インフラにおける電力の安定供給に不可欠な装置です。



SF₆ (六フッ化硫黄) とは？

SF₆ ガスは高い絶縁性能や冷却性能を有する絶縁媒体として認知され、1960 年代から広く産業用に使用されています。

一方、地球温暖化係数 (GWP) が CO₂ の 24,300 倍と極めて大きく、日本では大気中への放出を厳密に管理し、リサイクルしながら使用しているものの環境リスクが高いガスの 1 つとされています。

そのため、欧州連合 (EU) を中心にフッ素ガス規制の動きが始まり、SF₆ ガスをはじめとした GWP の高いガスを用いた製品の新規販売禁止が現在提案されています。



川崎CNブランド大賞製品「AEROXIA™」とは？

東芝エネルギーシステムズが 2022 年に販売を開始した新形 72kV GIS は、絶縁媒体である SF₆ ガスの代替に、窒素と酸素を主成分とする乾燥空気 (ドライエア) を使用しています。自然由来ガスを用いた電力会社向け GIS としては、国内初の製品で、ライフサイクル全体での温室効果ガス排出量を大きく削減しています。

また、自然由来のガスであることから、健康影響や規制に対する潜在リスクがなく、安心して使用することができます。

川崎 CN ブランドの審査員からは、市民には見慣れない製品ではあるが、温室効果ガスを使用しないという点で技術革新が図られており、カーボンニュートラルの実現に大きく貢献する製品であると高く評価されました。



お問い合わせ先

東芝エネルギーシステムズ株式会社
〒212-8585 川崎市幸区堀川町72-34
<https://www.global.toshiba/jp/company/energy.html>

業務内容

エネルギー事業関連の製品・システム・
サービスの開発・製造・販売



日本語



English



株式会社富士通ゼネラル

ルームエアコン「nocria (ノクリア)」 (2023年発売モデル)

製品・技術の概要

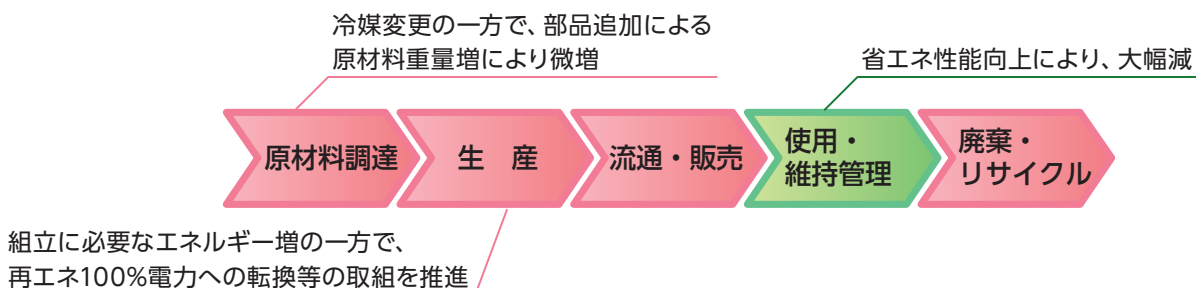
- 地球温暖化係数が低い冷媒R32を採用したルームエアコン。
- 新開発のインバータ技術や圧縮機など基幹部品の換装により、省エネ性能が向上。
- エアコンの運転状態や室内の状況によって、節電につながる情報を通知する機能を搭載 (X/Z/ZN/Wシリーズ)。
- ➔【例】運転停止後に使用した電気代をお知らせし、節電につながる使い方の提案。



「nocria (ノクリア)」Zシリーズ

ライフサイクルCO₂削減効果

- 同シリーズ2013年モデルと比較して、約14%のCO₂を削減



製品を通じた社会への波及効果

- 節電につながる使い方の提案・訴求により、家庭での更なる省エネに貢献。

企業からのコメント



当社のエアコン事業は1960年に始まり、「nocria (ノクリア)」は2003年に初号機を発売しました。当社はヒートポンプ技術を活用したエアコンの普及拡大に取り組み、お客様とともに持続可能な社会実現に貢献することを目指しています。

製品に関するトピックス

環境への取り組み

富士通ゼネラルグループでは、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みとして、2022年4月1日より、事業活動で使用する電力を再生可能エネルギー 100%に転換しています。

- (1) 国内外の拠点に太陽光発電システムを導入し、事業活動で使用する電力の一部を再生可能エネルギーへ切り替え。
 - (2) 太陽光発電システムを設置できない、または太陽光の発電量では全体を賄いきれない拠点は、電力会社が提供する再生可能エネルギー 100%メニューへ切り替え。
 - (3) 現在契約している電力会社が再生可能エネルギー 100%の電力メニューを持たない拠点到、国際認証機関が発行する再エネ電力証書を調達し、実質再生可能エネルギー 100%の電力へ切り替え。
- 上記により、温室効果ガス排出量の削減を図っています。

【事例】太陽光発電システムの導入



太陽光で発電した電力は自家消費し、
CO₂と電気代を削減。



世界での取り組み

① ヒートポンプ機器普及の取り組み

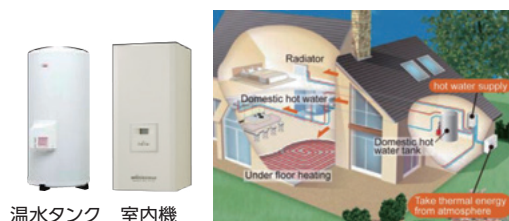
富士通ゼネラルグループは“世界の暖房文化を変える”ことを使命として、化石燃料を使用した暖房機に比べ温室効果ガスの排出量削減が期待できるヒートポンプ技術を活用した空調機の普及拡大に取り組んでいます。

② 欧州での取り組み

富士通ゼネラルグループでは、再生可能エネルギーとして認定されている「ヒートポンプ」を活用して温水の循環によって暖房を行うシステムである『ATW (Air to Water)』の普及促進を図ることによって温室効果ガス排出量の削減に貢献しています。

ATW (ヒートポンプ式温水暖房システム)

- ・ヒートポンプ技術により運転時の CO₂ 排出低減
- ・化石燃料機器に比べ、温室効果ガス排出低減



**化石燃料から再生可能エネルギーへの
転換促進**

地域への貢献

富士通ゼネラルグループでは、近隣の小学校 4 年生に環境教育(企業の節水、ゴミ分別、家電リサイクルや省エネ)を実施しています。

家電リサイクルでは静岡県浜松市のリサイクル工場とオンラインでの質疑応答、省エネでは自社の太陽光パネルや発泡スチロール減容機などの見学を通じ、地球に優しい人材の育成を行っています。



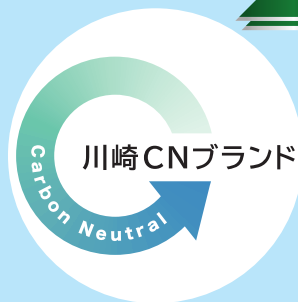
お問い合わせ先

株式会社富士通ゼネラル
〒213-8502 川崎市高津区末長3-3-17
Tel 044-861-7650 (お客様ご相談窓口)

業務内容

空調機、情報通信・電子デバイスの両部門において、
製品・部品の開発、製造、販売、サービスの提供
www.fujitsu-general.com/jp/





荏原実業株式会社

腐植質脱臭剤 「VOEF (EPSR1)」

域外貢献量 $1.72 \times 10^2 (\text{t-CO}_2)$

※使用期間中の累計脱臭剤充填量: 35,000kg

製品使用年数 10年間

製品・技術の概要

- 下水道関係施設等の乾式脱臭設備に使用される脱臭剤。
- 土壌由来の腐植質を原料とし常温処理で製造しており、製造及び再生処理の際に大量のエネルギーが必要な活性炭に対し、本製品を適宜交換して使用することで、ライフサイクル全体でCO₂排出量を削減。
- 脱臭剤として使用後は路盤材等に再利用することが可能。



ライフサイクルCO₂削減効果

- 同一の脱臭設備で活性炭を使用した場合と比較して、約12%のCO₂排出量を削減。

活性炭を再生処理して使用する場合と比較して
エネルギー消費を大幅に削減



製品を通じた社会への波及効果

- 既存のあらゆる乾式脱臭設備に充填可能で、既設の活性炭から本製品に変更することで、設備を変更することなくCO₂排出量を削減可能。

企業からのコメント



製造・開発に携わったメンバー

腐植質脱臭剤「VOEF (EPSR1)」は 30 年以上の販売実績と優れた脱臭性能で高い信頼を得ています。既存の活性炭から当製品に変更することで、脱臭性能を保証するだけでなく、カーボンニュートラルの実現に向けた CO₂ 削減に貢献することができます。

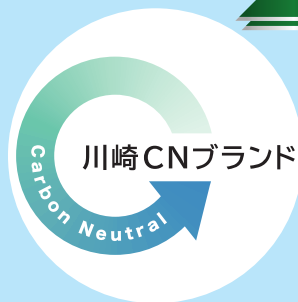
お問い合わせ先

荏原実業株式会社 中央研究所
〒215-0033 川崎市麻生区栗木2-3-10
Tel 03-5565-5095

業務内容

脱臭剤・脱臭装置・水処理・バイオマスに
関わる基礎研究・製品開発及び各種分析
<https://www.ejk.co.jp/>





TH健康住宅株式会社

自然素材とセルローズファイバーで造る 無結露・長寿命「TH健康住宅」

製品・技術の概要

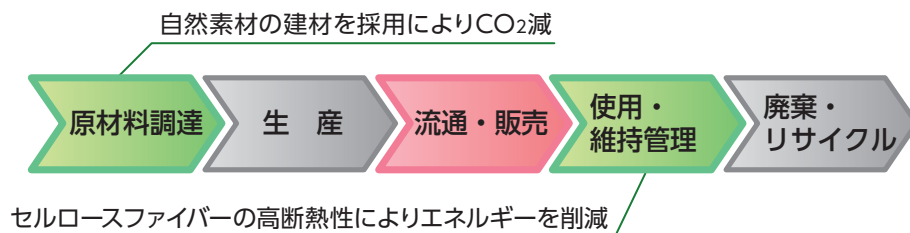
- 無垢材、シラスそとん壁等の自然素材とセルローズファイバー断熱材で造る木造住宅。
- 自然素材の建材を使用することで、製造時におけるCO₂を削減するとともに、セルローズファイバーの高断熱性により、冷暖房効率が向上することで、エネルギー消費量を削減。
- 木造躯体の腐食原因となる内部結露を発生させない工法で長寿命化。



TH健康住宅事務所

ライフサイクルCO₂削減効果

- 工業製品の建材やグラスウールを使用した木造住宅と比較して、約6%※のCO₂を削減
※施工場所：川崎市宮前区、延床面積：113.44m²、構造：木造2階建てロフト付きとした場合



製品を通じた社会への波及効果

- 長寿命な住宅を建てることで、建替えサイクルが延び、CO₂削減に貢献するとともに高い断熱性能によりエネルギーを削減。

企業からのコメント



TH健康住宅

人にも地球にも優しい自然素材の家づくり

日本の木造住宅の寿命は約25年～30年といわれています。特に高温多湿の夏に壁に内部結露が発生し、腐食、カビ、白アリの被害を受けます。内部も外部も透湿する自然素材で造る無結露の健康住宅で、メンテナンス費用が少なく、省エネ・長寿命の家を造ります。

築33年の中古住宅をリノベーションして造った事務所兼自宅の空気感を体感していただくために見学を受け付けています。

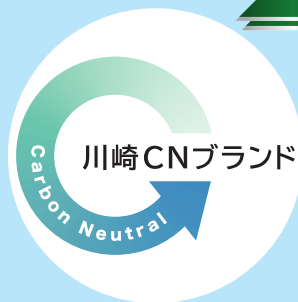
お問い合わせ先

TH健康住宅株式会社
〒216-0002 川崎市宮前区東有馬1-3-1
Tel 044-871-2088 Fax 044-871-2090

業務内容

注文住宅の新築・建替え・耐震改修・断熱改修・戸建てリフォーム・マンションリフォームの設計、施工を一貫して行っています。
<https://tokyo-hd.com/>





東京メータ株式会社

エアパワーメータ® 省エネコンサルティング

製品・技術の概要

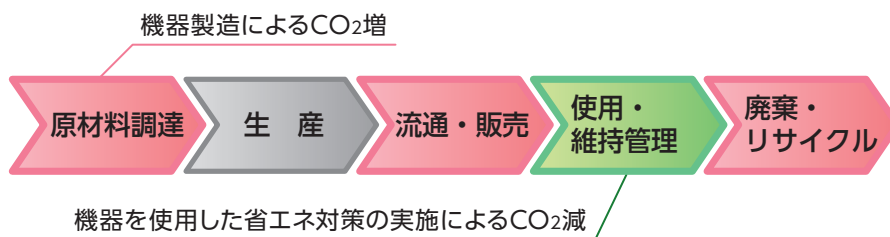
- 自社製品のエアパワーメータ®を使用して、工場の省エネ対策を提案するサービス。
- 世界初の空気圧エネルギーの計測技術によって、圧縮空気の漏れや圧力損失によるエネルギー損失の原因を調査・見える化。
- 圧縮空気のエネルギー損失の原因を調査し、施設や機器に適した省エネ対策を提案することで、コンプレッサーの消費電力を削減。



エアパワーメータ®

ライフサイクルCO₂削減効果

- モデル事例において、本製品・技術、サービスを導入しなかった場合と比較してCO₂を削減



製品を通じた社会への波及効果

- 製造業における生産ラインでは消費電力の20%~30%を空気圧システムが占めていると言われるため、エアパワーメータを使用し、効率的な管理を実現することでCO₂削減に繋がる。

企業からのコメント



総務部 加賀麻理子



技術部 小林敏也

エアパワーメータを使用し、工場などで使われる空気圧エネルギーの漏れや損失の原因を調査し最適な対策をとることで省エネ、CO₂削減に貢献します。

今後も弊社は環境への負担軽減に注力し持続可能な社会へ向けて努力します。

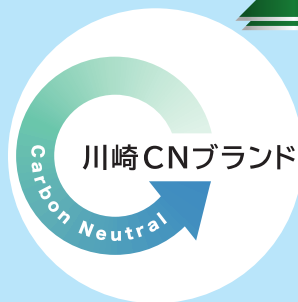
お問い合わせ先

東京メータ株式会社
〒212-8581 川崎市中原区今井南町10-41
Tel 044-738-2401
E-mail info@tokyometer.co.jp

業務内容

教育・研究用の実験試験装置、空圧機器、
差圧流量計、コンベア装置の製造と販売
<https://www.tokyometer.co.jp/>





東芝インフラシステムズ株式会社 電波システム事業部 小向工場

マルチパラメータ・フェーズドアレイ 気象レーダ (TW4682)

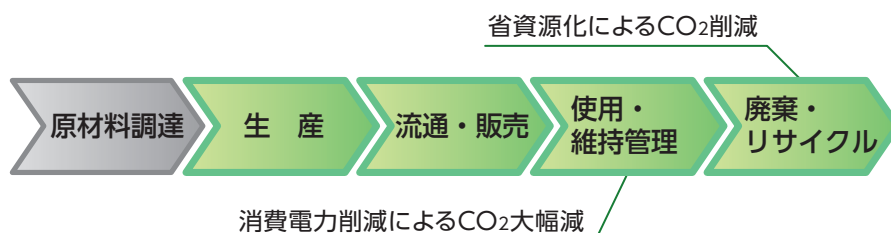
製品・技術の概要

- ゲリラ豪雨の兆候とその雨量を迅速かつ高い精度で予測することを可能にした気象レーダ。
- 二重偏波パッチアンテナの採用等により、従来の単偏波型フェーズドアレイ気象レーダ2台分の機能を有することで、省エネ化・省資源化を実現。
- 耐震性能を2倍にしつつ軽量化したことにより、設置場所の制約を可能な限り排除。



ライフサイクルCO₂削減効果

- 従来の単偏波型フェーズドアレイ気象レーダ2台と比較して約24%のCO₂を削減



製品を通じた社会への波及効果

- 早期に高精度で信頼性のある気象レーダ情報の提供を実現し、豪雨被害の低減に寄与。

企業からのコメント



今回開発した製品は、従来型の2台分の機能を持ちながらも、耐震性能を2倍にしつつ軽量化したことにより、省エネ・省資源化を実現しました。

今後も弊社は、川崎市の企業として、カーボンニュートラルの実現に向けた活動に取り組んでいきます。

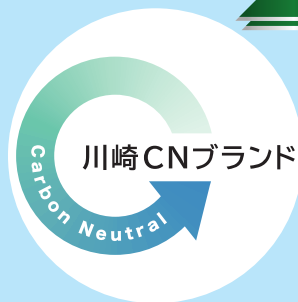
お問い合わせ先

東芝インフラシステムズ株式会社 小向事業所
〒212-8581 川崎市幸区小向東芝町1番地
Tel 044-548-5003

業務内容

電波機器、セキュリティ自動化機器等の開発・設計・製造・保守
<https://www.global.toshiba/jp/company/infrastructure.html>



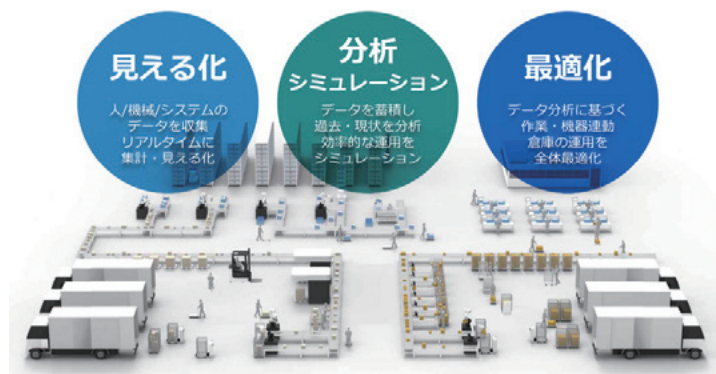


東芝インフラシステムズ株式会社
セキュリティ・自動化システム事業部 小向工場

倉庫運用管理システム (WES)

製品・技術の概要

- 人／機械／システムのデータを「見える化」「分析」「最適化」する倉庫運用管理システム。
- 複雑に変化する倉庫の状況にあわせて、最適な運用管理と業務実行をサポートすることで、機器の運用効率アップを実現し、消費電力を削減。
- 倉庫内のロボットエリアと人の作業スペースの効率的な配置や、倉庫全体のシステムの再構築により、更なる消費電力の削減も期待できる。



ライフサイクルCO₂削減効果

- 標準的なロボット倉庫の構成と運用を想定した場合に、システムを構成する部分について、導入前と比較して約9%のCO₂を削減



製品を通じた社会への波及効果

- 物流倉庫の効率化により、物流サービスの利用者である市民の負担なく、環境負荷の低減が実現できる。

企業からのコメント



弊社の倉庫管理システムは、物流倉庫に導入され、倉庫内の人と機械の作業の効率運用をサポートすることで、省電力や省スペースを実現します。

川崎市の企業として、これからもカーボンニュートラルの実現に向けた活動に取り組んでいきます。

お問い合わせ先

東芝インフラシステムズ株式会社 小向事業所
〒212-8581 川崎市幸区小向東芝町1番地
Tel 044-548-5003

業務内容

電波機器、セキュリティ自動化機器等の開発・設計・製造・保守
<https://www.global.toshiba/jp/company/infrastructure.html>



川崎CNブランド等推進協議会

川崎市と産業支援団体等※で構成され、川崎発の脱炭素化に向けた取組を企業、市民及び行政の協働により推進しています。

「川崎CNブランド」「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証を行うとともに、川崎CNブランドの前身の「低CO₂川崎ブランド」を含めて認定製品等の普及促進に向けた取組を行っています。

※川崎CNブランド等推進協議会は、川崎商工会議所、(公財)川崎市産業振興財団、(特非)産業・環境創造リエゾンセンター、川崎信用金庫、川崎市で構成しています。

川崎メカニズム認証制度

川崎メカニズム認証制度は、製品・技術・サービスのライフサイクルでのCO₂削減量を「見える化」するとともに、「市域外での温室効果ガス削減に貢献する量(域外貢献量)」を認証する制度です。

「川崎CNブランド」と「川崎メカニズム認証制度」は同時申請が可能であり、両制度を通じて、川崎の特徴・強みを活かした地球温暖化対策の推進を図っていききたいと考えています。



川崎メカニズム ロゴマーク

低CO₂川崎ブランド

ライフサイクル全体でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を高く評価し、発信する制度として2009年度から開始した制度です。

我が国の産業をけん引する企業が集積する川崎市において、ライフサイクル全体でのCO₂削減という考え方をいち早く取り入れており、2022年度までの14年間で126件の製品・技術、サービスを認定してきました。

LOW CARBON

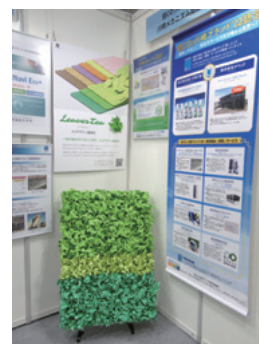


低CO₂川崎ブランド

低CO₂川崎ブランド ロゴマーク

普及促進に向けた取組

認定製品等のポスターの作成や展示会での出展を通じて認定製品の情報発信を行っています。



認定事業者における普及啓発事例

花王株式会社 川崎工場

市内商業施設において、イベントを開催し、2022年度低CO₂川崎ブランド大賞製品の「アタックZERO」や認定式の様子の紹介等を実施





COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

KAWASAKI
SDGs



川崎CNブランド2023 製品紹介パンフレット

印刷・発行 2023年11月
企画・編集 川崎CNブランド等推進協議会
連絡先 川崎市環境局 脱炭素戦略推進室
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
電話 044-200-3872
FAX 044-200-3921
Eメール 30titan@city.kawasaki.jp
ホームページ <https://www.k-co2brand.com/>

川崎CNブランド

Q 検索



日本語版



English



簡体中文